

質量分析による未知の成分の構造を推定

事例	<p>質量分析システムを用いて未知の成分の構造推定を行いました。</p>
試験内容 と結果	<p>ESI イオントラップ型液体クロマトグラフ-質量分析システムは、ポリフェノールやペプチドなど、分子量数百～数千の有機化合物の質量や分子構造を分析する装置です。</p> <p>高感度のイオントラップ型質量分析装置で検出することにより、微量成分の分析に力を発揮します。</p> <p>また、多段質量分析により、未知の成分の分子量や分子構造に関するデータが得られ、成分の同定のための有用な情報を得ることができます。</p> <p>※化合物によっては、検出し難かったり、全く検出されない場合があります。事前に担当者までご相談ください。</p> <div style="text-align: right;"> <p style="font-size: small;">ある素材の熱水抽出物の分析結果</p> <p style="font-size: small;">この成分のマスペクトル</p> </div>
使用装置	<p>ESI イオントラップ型液体クロマトグラフ-質量分析システム（平成17年度電源立地地域対策交付金）</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 300px;"> <p>メーカー名： Bruker Daltonics 型式：HCT Ultra</p> <p>【機器の概要】 有機化合物を分離する高速液体クロマトグラフに、イオントラップ型質量分析装置を直結し、オンラインで成分の分析が可能。多段質量分析により、化合物の分子構造に関する情報も得られます。</p> </div> </div>
手数料 使用料	<p>手数料：応用試験（前処理、所要日数等により料金が異なります）</p> <p>使用料：ESI イオントラップ型液体クロマトグラフ／質量分析システム 6,730円／時間</p>